

$m \neq 0$ とし、原点を通る傾き m の直線を l とする。 l に原点で接するような放物線 $P: y = a(x-b)^2 + c$ を考える。

(1) c を b と m で表せ。

(2) l と原点で垂直に交わる直線を l' とする。放物線 P と l' との原点以外の交点の座標を b と m で表せ。

(05 東北大 後 文系 2)

【答】

$$(1) c = \frac{bm}{2}$$

$$(2) \left(\frac{2b(m^2+1)}{m^2}, -\frac{2b(m^2+1)}{m^3} \right)$$

【解答】

(1) l の方程式は $y = mx$ である。放物線 P は l に原点で接するから

$$a(x-b)^2 + c = mx$$

$$ax^2 - (2ab+m)x + ab^2 + c = 0$$

は $x=0$ を重解にもつ。 $f(x) = ax^2 - (2ab+m)x + ab^2 + c$ とおくと

$$\begin{cases} \text{(判別式)} = 0 \\ f(0) = 0 \end{cases} \iff \begin{cases} (2ab+m)^2 - 4a(ab^2+c) = 0 \\ ab^2+c = 0 \end{cases}$$

$$\iff \begin{cases} 2ab+m = 0 & \dots\dots \textcircled{1} \\ ab^2+c = 0 \end{cases}$$

よって

$$c = -ab^2 = -\left(-\frac{m}{2}\right)b = \frac{bm}{2} \quad \dots\dots(\text{答})$$

● 微分を利用してもよい。

$$P: y = a(x-b)^2 + c$$

$$l: y = mx$$

$g(x) = a(x-b)^2 + c$, $h(x) = mx$ とおくと、 P が l に原点で接する条件は

$$\begin{cases} g(0) = h(0) \\ g'(0) = h'(0) \end{cases}$$

$g'(x) = 2a(x-b)$, $h'(x) = m$ であるから、この条件は

$$\begin{cases} ab^2 + c = 0 \\ -2ab = m \end{cases}$$

以下同じ。

(2) $\textcircled{1}$ と $m \neq 0$ より $b \neq 0$ であり、 $a = -\frac{m}{2b}$ である。さらに、(1) の結果をあわせると P の方程式は

$$y = -\frac{m}{2b}(x-b)^2 + \frac{bm}{2}$$

$$\therefore y = -\frac{m}{2b}x^2 + mx$$

となる。また、 l と原点で垂直に交わる直線 l' の方程式は

$$y = -\frac{1}{m}x$$

である。 P と l' の交点では

$$-\frac{m}{2b}x^2 + mx = -\frac{1}{m}x$$

が成り立つ。 $x \neq 0$ のとき

$$-\frac{m}{2b}x + m = -\frac{1}{m}$$

$$\therefore x = \frac{2b}{m} \left(m + \frac{1}{m} \right) = \frac{2b(m^2 + 1)}{m^2}$$

$$\therefore y = -\frac{1}{m}x = -\frac{2b(m^2 + 1)}{m^3}$$

よって、原点以外の交点の座標は

$$\left(\frac{2b(m^2 + 1)}{m^2}, -\frac{2b(m^2 + 1)}{m^3} \right) \quad \dots\dots(\text{答})$$